

全国の元気な仲間から 組合づくりを学ぼう！

教組共闘 全国教職員学習交流集会から

一月二日から三日まで福岡県北九州市で「全国教職員学習交流集会」が行われました。日本全国、ほとんどの都道府県の教職員組合が集う年に一度の学習交流集会です。印象的な組合の実践や元気な先生方についてご紹介します。

全教北九州市教職員組合の誕生

一〇月、全教に一番新しい教職員組合が誕生しました。「全教北九州市教職員組合」です。七年前に結成し、全教加盟をめざして組織拡大・組織強化をしてきたそうです。全国の全教加盟教職員組合と政令都市会議や教

組共闘などの会議・集会を通じて積極的に交流やそこで学んだことを北九州の教職員の身分や権利、命、健康を守るための運動に活かしてきたといえます。全国教職員学習交流集会では、全教加盟のよこび、若い

先生方の元気さ、何よりも教職員組合に集うことの楽しさが、運営している北九州の先生方からひしひしと伝わってきました。「これぞ組合、ここにあり」と感じます。



↑オープニングアクトで合唱を聞かせてくれた北九州の先生方

ちょっと解説 全教と教組共闘 そして「教職員学習交流集会」

私たち宗谷教職員組合は道教組・全教に結集している教職員組合です。私たちのように、全教に集う組合は約50あるものの、北海道で「義務制は道教組、高校は道高教組」という組織になっているため、全都道府県に全教組織があるわけではありません。

一方で、「民主教育の危機を打開し、子どもと教育・くらしを守るために、所属組織の違いをこえて、一致する要求にもとづく共同・連帯の運動に取り組む」ことを目的としている「教組共闘連絡会」という組織があります。

結成して25年となる教組共闘連絡会の呼びかけで全国47都道府県からの参加により行われるのが、この全国教職員学習交流集会です。

長時間勤務に関する取り組み

宮城県教職員組合

宮城県教職員組合では「子ども笑顔」地教委キャラバン」を実施しています。多忙極まる今の学校現場の状況を少しでも改善しようという取り組みです。組合独自で先生方の忙しさについて分析したり、文部科学省や県教委の施策の前進面を確かめ合うだけでなく、学校教育充実

のための教育条件整備を求める取り組みをしています。多忙・多忙感に対する取り組みについては、宗谷教組でも対策をしていきたいと考えている課題です。こうした先行実践から、取り組みのもとというのは生まれるもの。教育実践も同じですよ。

組合が協同して創る 学力シンポジウム

沖縄県教職員組合那覇支部

北海道の「学力向上施策」と同じように、沖縄でも行政主導の学力向上施策が矢継ぎ早に行われているといえます。

育関係者の広い協同を呼びかける取り組みもかつてはありました。こうして同じような視点に立っている教職員組合の取り組みに激励し、激励されながら取り組みを進めるといったこの大切さを感じました。

「テストの点数に惑わされず、全体像が見える資料や現場の声を積み上げながら冷静な視座を構築していく必要がある」という判断から、様々な教育関係者と手を取り合いながら学力シンポジウムを開催したという取り組みが紹介されました。集い考え合うことは、宗谷でも大切にしている視点です。教

組合ができた時の歓び、運動を進めることができた達成感、みんなで集うことの良さ、教職員組合にまつわる様々な場面に出席することができる学習交流集会でした。

宗谷の四季

全国教職員学習交流集会に行きつづけて気づいたことがあります。

それは、宗谷教組と同規模の組合(単組)は全国にたくさんあっても、こんなに広い大地をカバーしている組合はそうそうないんだ...ということでした。本州では、60分会くらいの規模の組合なら、どこの分

会からも「30分くらいで本部に集まれる」といいます。宗谷だと船に乗って、車で走って「いざっ」と気合を入れて稚内の宗谷教育会館に集まります。

こうした地理的側面をも乗り越えて組合に集っていける取り組みを、地道にコツコツ進めていきたいと感じます。みんなで宗谷教組の組合づくりを進めましょう♪